

千代中 3 年間の 人間関係づくり (道徳・総合) と集団づくり (特別活動) 実践記録



千代中実践プラン(h18・19・20年度)重枝学年

まずは4月の学年懇談会で、保護者に資料を配って、3年計画について説明しました。【一部抜粋】

千代中の目標

班形態のテーマ「他者とのかかわりの中で自己を見つめ、生き方を考える。」

学習のテーマ「つながり学習」

道徳的テーマ「自分のためにもなり、みんなのためにもなる。」

そのために・・・

その1 友達の考えや行動を参考にしよう。

その2 友達の目から見た自分を気づこう。

その3 友達と自分の行動、考え方、感情の違いの比較から、新しい気づきをしよう。

SGE (構成的グループエンカウンター: 表中はEで表す)

SST (ソーシャルスキルトレーニング: 表中はSで表す)

GWT (グループワークトレーニング: 表中はGで表す)

《 1年 》

学年目標: 『ききとる・つながる・やりとげる』

生活目標: 「気づき・考え・行動する」

重点目標: あいさつ、言葉遣い 時間を守る 掃除の徹底

月	生徒の様子	その月の主な実践行事	ねらい	
4	<ul style="list-style-type: none"> ・学年開き ・相互依存または孤立 ・期待感 ・集団の意識薄い ・個人が目立つ 	『班長会で班のメンバーを決めよう』	リーダーに自覚を持たせ、明るい中にも落ち着いた雰囲気の中で学習ができる班構成を考える。また、一人ひとりの存在を認める話し合いをする。	E
		『個人の目標を立てよう(応援メッセージ)』	友だちの目標を読み、それを応援することで他者理解の雰囲気をつくる。	E
		『千代中タイタニック』	入学したばかりの仲間と良好な人間関係をつくるとともに、全体的に安心感をつくる。	E
		『ソーシャルスキルについて』	小学校からの心配を題材に、今までの自分たちを振り返り、ソーシャルスキルの必要性を実感させる。	S
		『サイコロトーク』	テーマに沿って自分の思っていることを素直に表現する。そのときの聞き手の態度が話し手に大きく影響することを意識させる。	E
5	<ul style="list-style-type: none"> ・クラスの成員がよく知り合う時期 ・五月病 	『1年後の自分へ』	自分の気持ちを積極的に出し、また友だちからの気持ちを受けとることで、つながりを実感させる。	E
		『1年後の友へ』		
		『トラストフォール』	集団の雰囲気をなごませ、みんなと活動しようという気持ちにさせる。くり返し行う中で成長の評価を入れ、ソーシャルスキルと関連づけていく。その時期に必要な生徒指導にもつなげる。	S
		『進化じゃんけん』		
		『指で集まれ』		
『心の(言葉の)キャッチボール』	言葉の言い方で受け手がどのように感じるのを知り、自分の言葉の言い方の目標を立てる。「アサーションスキル」の獲得を目指す。	E		
『もう一度班づくり』	説得力ある言い方や態度を学び、リーダー育成をする。	E		

		『あなたがいて私はうれしい』	自己肯定感をもたせ、他者理解の心を育む。教師、生徒のリレーションづくりにもなる。	E
		『鍛錬遠足をよくする人』	クラスを構成し、つくりあげていくひとりの存在として、どのような態度と行動が必要なのかを知る。また、グループワークを通して、それらを自分のスキルとして習得していく。	G
		鍛錬遠足	楽しく参加しながらも、他者を思いやり、援助の手を差しのべ合う協力的な人間関係を育成する。一つの成功にはみんなの力が必要だということを経験的に感得させる。	G
6	・友達づくりに乗り遅れた生徒 ・好ましくない人間関係のひきずり ・学級ごとのズレ	『自然教室に向けて培うスキル』	友だちとのコミュニケーションの取り方、トラブル解消のスキルを知り、目標を立てる。	S
		『嫌な気持ちを知ろう』	自然教室は自分ひとりだけのものではなく、みんなのものであるという意識を持たせる。	S
		自然教室	楽しく参加しながらも、事前に培ったスキルをいかして人を思いやる豊かな心情を育む。	S
		球技大会	事前に各自で目標を立てシェアリングすることで、楽しく参加しながらも、自分の役割に責任感を持たせる。	G
		『アサーショントレーニング』	自然教室や、日常の授業場面でのロールプレイを通し、良い関係を保ちながらも自分の気持ちを伝える言い方や態度があることをつかむ。	S
		『期末テスト・愛のメール大作戦』	班のメンバーから、応援メッセージをもらうことで、ポジティブに取り組もうとする意欲を喚起する。	E
7	・部活動や行事の疲労から学習に向き合えない生徒	『ソーシャルスキルトレーニング』	教師とのコミュニケーション場面のロールプレイを通し、ソーシャルスキルを獲得する。	S
		『向いているのはどんな人』	2学期の職場体験学習に向けて、職業の適性を知る。個人の考えから班の考えにまとめることで、人間関係も高める。	E
		山笠体験	山笠に関する7つのコースに分かれて、課題に取り組むことで、地域の伝統を具体的に学び、よりよい取り組みの意識につなげる。 【つながり課題学習】	
8	・生活習慣のくずれ ・他者とのかわりが特定化	『日本を美しくする会』	福岡掃除に学ぶ会の方々から講習を受け、トイレの便器磨きを行う。「気づける人になるう、そして勇気を出して行動しよう。」を意識づける。	S
1学期での変容	<p>集団の緊張感を取り除き、自分や仲間に対する肯定感を持たせることができた。</p> <p>のぞましいリーダーの姿を自覚させて班づくりを行うことで、3年間の意識づけができた。</p> <p>気持ちや応援メッセージのやりとりをすることで、つながりを実感させることができた。</p> <p>良い関係を保ちながらきちんとコミュニケーションがとれる「アサーションスキル」を経験的に習得できた。</p> <p>ルールやマナーを守る「ソーシャルスキル」習得と生徒指導を関連づけて行うことができた。</p> <p>エクササイズを通して、多様な生徒同士、教師と生徒のリレーションづくりになった。</p> <p>自分の役割や存在を意識して集団の一員として行動できるようになった。</p>			

9	<p>・学校生活への再適応 ・集団づくりの中で大切なことを認識</p>	<p>『電話でアポイントメント』</p> <p><u>職場体験学習</u> 『ある朝の出来事』</p> <p><u>除草作業</u></p>	<p>職場体験先へかける電話のシナリオづくりとロールプレイを通して、相手に好感を与えるスキルを身に付ける。</p> <p>読み物を通して、相手の立場に立って物事を考える姿勢を意識する。</p> <p>地域の老人会の方々と校区体育祭のための共同作業体験をする。</p>	<p>S</p> <p>E,S,G</p> <p>E,S,G</p>
10	<p>・集団としてまとまる時期</p>	<p>『えんぴつ対談』</p> <p>『アイスブレイク』</p> <p>『偏愛マップ』</p> <p>『気になる自画像』</p> <p>『私の身近な人』</p> <p><u>校区体育祭</u></p>	<p>2人1組の筆談で、自分の感情や考えを落ち着いて文章化することで自己理解をする。同時に、相手の文章の背景にある感情や考えを読み取ることで、他者理解を促す。</p> <p>「トラストフォール」と「人間知恵の輪」で体をフルに使って体験的に信頼や協力を気付く。</p> <p>2人1組でお互いの好きなものマップをみながらコミュニケーションをとることで、相手の意外な一面を知り、人間関係を広げていく。</p> <p>自分の長所を他者から認めもらうことで自己安定感を高め、自信をもって生活できるようになる。</p> <p>身近な人との関係をあらためて考えることで、その人たちを見つめる姿勢と視点を学ぶ。</p> <p>地域と協力して行う体育祭を通して、地域とのつながりと中学生としての役割を意識する。</p>	<p>E</p> <p>E</p> <p>E</p> <p>E</p> <p>E</p> <p>E,S,G</p>
11	<p>・個人の利害と集団の利害に矛盾が出る時期</p>	<p>『礼儀って何だろう?』</p> <p>『リーダーについて考えよう』</p> <p>『四角形を作ろう』</p> <p>『黙ってコミュニケーション』</p> <p>『背中合わせと向かい合わせ』</p> <p>『新聞紙でチャレンジ』</p> <p>『いじめってどんなこと?』</p> <p>『いじめのロールプレイ』</p>	<p>あいさつの言葉と気持ちにスポットをあて、相手にも伝えたい思いがあることに気付く。</p> <p>リーダーとしてふさわしい人物像について考え、自分や他者のもつ仕事能力を見つめる。</p> <p>3人1組でパズルを完成させる協同作業を通して、協力する雰囲気を意識づける。</p> <p>4人1組で黙ってパズルを完成させる中で、自己中心性に気づき、相手を思いやり援助し合う関係を形成する。</p> <p>言葉だけで一方的に伝えるより、相手の様子を確認しながら伝えたいほうが伝わりやすいことに気付く。</p> <p>チームでコミュニケーションを図り、スムーズな情報伝達やタイミングの良い発言のしかたに気付く。</p> <p>いろいろな事例からいじめの度合いを分析することで、いじめの定義を考える。</p> <p>4つの役割を交代で演じることで、それぞれの立場から体験的にいじめを考える。</p>	<p>S</p> <p>G</p> <p>G</p> <p>G</p> <p>S</p> <p>G</p> <p>G</p> <p>E</p>

12	・ 集団が熟成する時期	『心の手紙』 『えんぴつ対談』 『宝探し』 『男らしい・女らしいってなあに？』 <u>携帯・インターネット被害防止教室</u> 『生命誕生』 『いいところさがし川柳』 『先生達のいいところさがし』	「今誰かをいじめているあなたへ」「今誰かにいじめられているあなたへ」という手紙にのせて、各自の思いを宣誓する。 心を落ち着かせて相手のことを知り、自分の気づきを増やしていく。 協力して問題を解決する過程で、自分や相手の感情や言動を学び取る。自分の言動をふり返り、自分はどんな役割を果たしていたのか、向いているのかを自覚する。 男性にとって女性にとって大切と思う資質には共通点が多いことに気付く。ジェンダーに気づく。 情報活用の危険性について理解し、トラブルの対処法や情報モラルを身に付ける。 してもらったこと、迷惑をかけたこと、して返したことを自分史としてまとめて発表することで、多くの人から支えられてここまで成長してきたことに気付く。 友達のいいところを川柳にして発表することで、他者理解を深める。 教師と生徒の信頼関係を深める。	E E G S S E E E
2 学 期 で の 変 容	相手に好感を持たせる自己表現を意識するようになった。 相手のことを知ろうとする姿勢を持ち、人間関係を広げることができた。 自尊感情を高め、日常生活の意欲を高めることができた。 班で円滑な問題解決を目指す中で、コミュニケーションをとるときのポイントを見つけることができた。 いじめにつながることを注意する雰囲気が出た。 自分自身を見つめ直し、自分の努力目標を設定することができた。 人のよいところを日常的に意識することで、集団の安心感が定着してきた。			
1	・ 心身の成長が著しい ・ 進路についての関心が高まる	『3学期の目標を立てよう』 『無人島SOS』 『ロールレタリング』 『すごろくトーク』 『ブラインドデート』 『えんぴつ対談』	自分の目標に対して友達から応援メッセージをもらい、自尊感情を高めながら目標に向かう意欲を高めていく。 新しい班でのリレーションづくり。相手の話に耳を傾けてしっかり聴く力、共感性、伝える力を高める。 自己への気づき、自己カウンセリングの手法を通して、心を開き前向きな生き方につなげていく。 うれしい話の聴き方のソーシャルスキルを意識させ、友達の考えや思いに気付く。 友達の長をみんなで確認しながら人間関係を良くしていく。 「3年生は今」というテーマで、本音で自分の	E E E E E E

		『魔法使いのプレゼント』	進路について考える。 自分の考えにもとづいて意思を決定し、友達と意見交流することで道徳的価値観を高める。 【モラルジレンマ授業】	
		『金メダルへの道』	自分と同じ考えの人の意見を聴いて自分を深め、自分と違う意見を聴いて自分を広げる。 【モラルジレンマ授業】	E
		『わたしは誰でしょう？友達発見』	自己理解，自己開示，他者理解，リレーションづくり。	E
2	・2年生への期待と不安が顕在 ・動揺する生徒	『君ならどうする？』	日常生活に起こる様々な問題にどのように対処するか，正しい判断力を養う。	S
		『職業発見120・自分の興味を知る』	職業カード120枚をKJ法で自分なりにグループ分けをすることで，職業趣味は自分のパーソナリティにつながっていることを意識する。職業趣味を通した自己理解につなげる。	
		『職業調べ ベスト120』	インターネット（13歳のハローワーク検索）で関心の高い職業と関心の低い職業を調べる。	
		『職業当てクイズ』	調べた職業の中から職業当てクイズをつくることで，職業理解を深める。また，クイズに参加することで共有化を図る。	E
		『向いているのはどんな人？』	自分の適性と職業が求める適性があることを理解する。友達と話し合うことで職業理解と他者理解を深める。	E
		『ペタペタぴたり私の特長』	お互いのよさを再発見しながら，自分の特色と進路との関連を考える。夢を実現するために何を頑張らないといけないのかという目標をもつ。	E
3	・クラスの安心感が次のステップへの意欲を弱めている	『13歳の主張』	集中進路学習をしてきたまとめとして，「将来の夢」というテーマで今の自分の思いを本音で語った原稿を作る。	E,S,G
		13歳の主張（弁論大会）	弁論大会形式で発表する。伝えたことがはっきりわかり，人の心を動かすような内容と伝え方を目指す。	E,S,G
		『十人十色』	クラス替えは友達の輪を広げ，自分にとっても得るものが多いという意識付けをする。個性の違いを認め合う風土をつくる。	E
1年間での変容	<p>集団のルールとマナー，配慮のスキル，かわりのスキルなどの理解を深めた。</p> <p>まわりのことを考えた自己表現をする生徒が確実に増えている。</p> <p>学習に不慣れであったり，人づきあいが不慣れであった生徒が，新しい気づきを得て，少しずつではあるが向上している。</p> <p>学びあうときの緊張感，喜びなどを味わう機会が増え，それとともに認め合う関係も増えた。</p> <p>授業中置き去りになりそうな生徒がモチベーションを上げようとする機会が増えた。</p> <p>みんなの前で自己表現を素直にできるリーダー的な生徒が出てきた。（見通しとして，生徒会役員候補）</p>			

1年生学年だより 第21号

文責 重枝 一郎

今号は、1年間のまとめと、これからの学年の方向性について書きます。

他校の先生方が参観する研究授業が本校でありました。授業後の協議会では千代中の取り組みに対し、お褒めの言葉をいただき生徒たちにも誇りをもって前進しようと話したところです。

目標とも言えるテーマは、

テーマ 『他者とのかかわりの中で自己を見つめ生き方を考える』

今までの取り組みと考え方

班形態の基本コンセプト（集団の教育力）

友達の考え方や行動を参考にしたモデリング（模倣）学習。

・観察の対象が多い。

友達の目を通して自分についてのフィードバック。

・自分をうつす鏡が多ければ多いほど、自分の学習への気づきが増える。

・相互のフィードバックで人と人をつなげていく。

自分と他人の行動や感情、考え方の違いの比較から、新しい気づき（洞察）がある。

・認め合う集団づくり。

総合学習・マラソン学習・進路学習や、さまざまな行事では集団の教育力を引き出し、高め、効果的に学習課題を進める可能性を仕組んでいる。（その他の取り組みも含めて「自分史ファイル」に綴じている。）

《成果と課題》

集団のルール、他者とのかかわりなどの理解を深めた。

まわりのことを考えた自己表現をする生徒が確実に増えている。

学習に不慣れであったり、人付き合いが不慣れであった生徒が、新しい気づきを得て、少しずつではあるが向上している。

学ぶときの緊張感、喜びなどを味わう機会が増え、それとともに認め合う機会も増えた。

授業中、置き去りになりそうな生徒がモチベーションを上げようとする機会が増えた。

人のまねも大切だが、自分らしさをしっかりもって友達のアイデアを参考にするとところまではなかなかできない。つまり、流されやすい面がある。

無気力な自己表現をする生徒に対して取り組み中である。またそれと同時に、上手な自己表現をするリーダーを育てきっていない。

2年生に進級するにあたって

大切なのは目標を設定してスタートをきる。

つまり、目標を定めるための自問自答を教師・親とも自覚する。

教師「自分の学級はどうなってほしいのか」

親「子どもにはどういう人間になってほしいのか」

ここをスタートラインとして、また、新しい気持ちで2年生の1年間を送れたらいいと思う。

このように学年教師で考えたものの、保護者の考えも当然かかわってきます。そこでアンケート（別紙）をさせていただきます。3月の第2週くらいまでに提出していただくとありがたいです。アンケートの結果は、2年生最初の学年だよりまたは保護者会で報告させていただきます。

具体的な3学期の成果と課題

授業中の聞く態度など人の話を聞く態度が向上した。

係活動や清掃など、みんなでがんばろうとする意識は向上した。

ノート整理もせず、家庭学習もせず、ましてや学習道具を忘れ物をするといった基本的な習慣が身につけていない生徒がいる。

まゆそり、スカート丈など指導はしたが・・・春休み明けなど少し心配しています。ご家庭でのご協力をお願いしたい。

〔お知らせ〕昨日、職場取材をまとめた本を持ち帰らせています。ご覧ください。

来年度もよろしく申し上げます。

《2 学年》

2 年生学年便り第 1 号に 2 年生の学年目標を書きました。【一部抜粋】

学年目標と心構え



昨年の 2 年生の生徒が、私にこう問うたことがあります。

「私、悩みがいっぱいあるんですけど、先生は悩んだり、迷ったりすることはないんですか？」私はもちろん本音で答えます。「そんなことはないよ。おじさんはおじさんなりの迷いがあるんだよ。だからいつも考えている。自分に自分で、おまえは何がしたいんだ？どう思っているんだ？何が大切なんだ？って」「そうですか。やっぱり迷いはいくつになってもあるんですね。」「でもな、中学生の頃と違って、揺れは少なくはなっとうたい。迷いながらも、オレはオレやけん、オレらしくやっていけばいいという気持ちが強くなったんやろね。それと判断基準をもてるようになったのもある。だけん迷いも大揺れすることはなくなったと思うよ。中学生の時期は、疾風怒濤の時代といわれるくらい気持ちが大きく揺れになるときやもんね。迷って当たり前と思うけど、迷って自分が成長していくもんね。」「そうですね。そういわれると安心しました。友だちは進路のことを決めているのに私は考えられない状態で、不安になっていました。でも、これから少しずつでも前向きにやっていこうという気持ちになりました。」「うん。よーと考えやい。今できるベストの選択をすればいいたい。迷うことで耐える力をつけることは、きっと未来のあなたを助けてくれるよ。」

この話しでもわかるように、君たちは、発達段階なので、悩んだり、心配したり、不安に思ったりすることが多いと思います。だから、この 1 年は特に「自分に問う力」つまり、「うまく悩む力」を育てることが「生きる力」を育てることになっていくのです。

そこで、2 年生の目標は「たくましい生徒。パワーのあるやさしさを持つ生徒。」にします。またそれを達成させるための具体的目標は、「有言実行させる。相手の立場を考えた自己主張をさせる。」ことを意識させたいと考えています。

今年も、いろいろな縁、袖がふれあう機会を多くつくり、人は人に支えられながら生きている実感を持ちながら、共に成長して行ってほしいと思います。

《 2 年 》

学年目標：『パワーのあるやさしさをもつ人』

生活目標：「相手の立場に立った自己主張ができる」

重点目標：絶対あいさつ 絶対チャイム席

月	生徒の様子	その月の主な実践行事	ねらい	つながり学習
4	この欄は 1 学年とほぼ同様になり、付け加えることのみ記載す ・小グループが互いに牽制しあう。	『My name is・・・』 『新聞紙でチャレンジ』	新しいクラスでの不安を軽減するとともに、自己開示していく。 ジグソーパズル的なゲームを通してグループでコミュニケーションをとることを体験的に味わう。言葉、身振り手振りも自分を伝える手段で	E G

		『冬山からの全員脱出』	あることを体験する。また、班形態の意義を理解させる。	
		『ブラインドデート』	自己主張を体験することで生じる自分や友だちに対する感情に気づかせ、自己主張する意欲を引き出す。	E
		『I（愛）メッセージで川柳を作ろう』	異性に対する見方考え方に気づき、相互に認め合うことで温かい人間関係をつくる。	E
		『私をかえた3つのできごと』	人の良さを認め、自分のよさに気付く。	E
			人とのかわりに感謝する心をもつ。また、自分を見つめることの大切さに気付く。	E
5	・1年生の時の好ましくない人間関係をひきずっている。 ・学級集団の向上を考えるまでに至っていない。	『ライフポート』	生命の尊さ、自己開示、他者理解、自己主張アサーションをグループで話し合うこと、価値を葛藤させることを通して実感させる。新聞紙の字を切り抜いて班全員の名前をポートに乗せることで全員救出のエクササイズは後味がよい。	E
		『もしもあなたが親ならば』	他者理解、家族愛。家庭訪問前に親の立場から考える体験を通して親の気持ちを理解させる。	E
		『ありえるゴミ箱』	教室のゴミ箱のゴミをすべて広げ、それを見て気づいたことを発表する。ゴミは教室の雰囲気を出し出すことを意識させる。	E
		『今の自分を見つめて』	自己評価後、班のメンバーからの評価を聞く。そこから気づいたことをもとに理想の自分をつくっていく。自己理解、感受性の促進。	E
		『Xへの手紙』	学習面の悩みを自己開示し、友だちからアドバイスを受ける。リレーションづくりをすすめ、仲間の温かい支えにより自身をもつ。	E
		『えんぴつ対談』	鍛錬遠足の確認事項を班長が説明し、聴くスキルについて考える。その後鍛錬遠足をテーマに2人1組でえんぴつ対談をする。	E
		『さわやかにあいさつ』	あいさつについてのSST。ロールプレイで気づいたことについて発表し、「今日の発見・挑戦・予言」をする。日常の実際の自分に気付く。	S
		『鍛錬遠足を良くする人』	行事を創り上げていくひとりの存在として、どのような態度と行動が必要なのかGWTを通して自分のものにしていく。また友だちの良さについても探していく。	G
		『鍛錬遠足ありがとう』	自分が頑張ったこと、友だちが頑張ったことを評価しあう。鍛錬遠足の意義につながっていることに気づきポジティブに行事をとらえさせていく。	E
		『気になる自画像』	他の人から見た自分の特性について気づいたことを振り返る。活発に質問して、深く自分の言動について振り返る。	E
		『いいところさがし』	継続して行うエクササイズ。内容を進化させ、自己肯定感を高める。	E

		『つながっているね』	身近な人10人をピックアップしその人とのつながりを考える。クエスチョンリスニングを体験する。	E
		『縦割り学年集会』	「1日の生活」「新聞紙でチャレンジ」の先輩たちの様子を1年生とビデオで見る。2年生は自分たちを振り返り、1年生は今の自分たちとオーバーラップさせこれからの学校生活に役立てる。	G
6	・疲れから係活動の機能が低下する時期。	『教室はどこだ』	他者と協力する喜びを感じながら集団のルールとリレーションをつくる。響きあう関係をつくるためには、人の話をしっかり聴いて横道にそれないことに気づかせる。	G
		『ウインターサバイバル』	いろんなタイプのリーダーを意識しながら役割について考える。班のメンバーを入れ替えたのでリレーションづくり。	E
		『ボディートーク』『ワードトーク』	目隠しをしてた友だちを無言で触って誘導する。相手のことを思いやり考えて行動する。また、言葉だけで触らないで誘導する。信頼関係を深めるエクササイズ。	E
		『球技大会を良くする人』	チームを構成し、創り上げていくひとりの存在としてどのような態度と行動が必要なのかGWTを通して自分のものにしていく。	G
		『ロジカルシンキング』	論理的思考TR。筋道を立てて考える。3ステップはなぜぐせをつける 紙に書く 人に説明し、意見交換する これを「なぜ期末テストができなかったか」をテーマに行う。	E
		『教科書の中のたった1行』	映画「プライベートライアン」を見て、「戦争と私たちのクラス」というテーマで作文を書く。	
7	・集団相互で影響を受け合う状態	『感じのよいあいさつ』	相手や時、場所に合ったあいさつの仕方を身につける。ロールプレイをし、心地よさを味わい、職場体験学習の大切なスキルとして意識化する。	S
		『職場体験学習について』	職場体験学習の意義を伝え、アポイントメントする必要性を理解し、その練習をロールプレイで行う。	S
		『事業所調べ』	パソコンを使い、リストアップしていく。	
		『アポイントメント』	事業所に電話し、内諾をいただくために相手と会話する。	S
1 学 期 で の 変 容	<p>効率よく楽しみながら友達づくりができた。 担任との信頼関係もよいスタートが切れた。 コミュニケーション活動により、授業面でも効果が見られた。 攻撃的な自己主張をする生徒がアサーティブな人になろうとする姿が見られた。 上級生としての自覚が見られた。 いじめ防止の動機づけになった。 互いに励まし合って努力する姿が見られた。 行事のの取り組みの目的を理解し、頑張っていこうという姿が見られた。 エクササイズすることに慣れ、会話が増え、教師、生徒ともに笑顔が増えた。</p>			

9	<p>・リーダーとして活躍する姿が見られる時期。</p>	<p>『グルーピング, トラストフォール, トラストアップ, 人間知恵の輪』</p> <p>『やる気の花束』</p> <p>『お誕生日おめでとう』</p> <p>『今学期の目標』</p> <p>『ルールとマナー』</p> <p>卒業生の話</p> <p>『清掃マイスターへの道』</p> <p>『私のハードルチェック』</p> <p>職場体験学習 除草作業</p>	<p>信頼関係をつくるエクササイズ。</p> <p>信頼関係から発せられる仲間からのメッセージは絆意識を強め、自己肯定感を高め、勇気とチャレンジ精神がひとりひとりに醸成されていく。</p> <p>新しい班になり、GWTをするときに認め合う大切さに気付く。</p> <p>お互いの係活動に対する姿勢で見習いたいところをメッセージとして送る。ルールとリレーションの相互関係を理解させる。</p> <p>ルールが育つとリレーションが育つことを理解させる。</p> <p>卒業生の話聞き、自分の近未来のキャリアデザインに役立てる。</p> <p>掃除の意義を理解し、よりよい清掃活動を目指して、グループでの打合せをする。また、啓発ポスターをつくる。</p> <p>職場体験に向けてのめあてをもちそれを達成するためのハードルを設定し、積極的に体験する気持ちを育てる。</p> <p>地域の老人会の方々と校区体育祭のための共同作業体験をする。</p>	<p>E</p> <p>E</p> <p>G</p> <p>E</p> <p>S</p> <p>E</p> <p>E</p> <p>E,S,G E,S,G</p>
10	<p>・人間関係に幅が期待できる時期。</p> <p>・中だるみ的に学校生活にマンネリを感じ他のことに興味をもつ時期。</p>	<p>『お礼状書き』</p> <p>『体育祭をよくする人』</p> <p>『共同コラージュ』</p> <p>『団結とは何か』</p> <p>『体育祭Howマッチ?』</p> <p>『好かれる努力』</p> <p>『黒い小銭入れ』</p> <p>『ジョハリの窓』</p>	<p>職場体験学習の事業所にお礼状を書く。書き方を学び、実勢に体験して感じたことを、感謝の気持ちで書く。</p> <p>自分たちの「目的地」を各自が言葉で表現し、体育祭を成功させるにはどうしたらよいか認識させる。</p> <p>班で「体育祭をよくする人」をまとめ、共同でコラージュを制作する。</p> <p>体育祭直前に、みんなで高い意欲をもって完全燃焼することを意識づける。</p> <p>体育祭での自分は何に最も価値をおいていたのか、何を達成することができたのか、自己開示し、他者の感情に共感し、尊重することを学ぶ。</p> <p>自己中心的、責任転嫁してしまう人のモデルから自分を振り返る。</p> <p>周囲の状況に左右されることなく、誠実に実行できる態度を養う。</p> <p>「お互いが教科書」である意識付けをし、自分は知らないが他人は知っていた自分の長所短所を知るといったエクササイズから「自己盲点」</p>	<p>G</p> <p>G</p> <p>E</p> <p>E</p> <p>S</p> <p>S</p> <p>E</p>

		『なぞのマラソンランナー』	に気づき、れからの生活に役立てる。 グループの話し合いの中で、必要な情報をタイムリーに提供できる力をつける。積極的に課題達成へ向けて貢献できる力をつける。	G
11	・集団の目標についてこれない生徒が連帯感を薄める時期。	『ウインターサバイバル』 『ハリスできるかな?』 『みんなでリフレーミング』 『サイレントピクチャー』 『顔の責任(表情伝言ゲーム)』	自分の意見と人の意見が違うときどんなことを大切に話し合うのか気づかせる。 一方的な説明では相手に意図が伝わらないことを実感する。 友だちの短所をリフレーミングしていく。それを伝える。見方を変えれば長所であることを知り、自己肯定感を高める。それは人間関係づくりの上で大切な要素であることに気付く。 合唱発表会の曲をイメージして自己表現する。絵画というノンバーバルな表現を通して、他の人の気持ちを考え、協力性を高める。 コミュニケーションをとるとき、言葉だけでなく、顔の表情やしぐさなどのノンバーバルなコミュニケーションを用いていることを理解させる。	E E E E
12	・集大成とはこのような実感を味わうことができるんだとわかる時期。	『サイレントメッセージ』 『世の中をよくする人』 『豊くんの悩み』 『修学旅行物語』	目の不自由な人に気持ちを伝えるためにはどのような点に気をつければよいか、また、自分がアイマスク体験をすることで気づきから本当の思いやりを考える。 人権学習のまとめとして、今、瞬間瞬間を自覚的に生きていくために、学んだことをまとめていく。シェアリングし、宣言する。 男女交際も友だち関係においても相手の立場に立った言動、思いやりがとても大切であることに気付く。 修学旅行から帰ってきたときから逆算して、今をイメージTRする。自分が何と自己中心で行き当たりばったりであることに気づき、より確かな目標をもつて学校生活をする	E E
2 学 期 で の 変 容	<p>新しい班で仲良くできた実感をもつことができた。</p> <p>職場体験やささまざまな行事に向けて、コミュニケーション能力を高めることができた。</p> <p>非行は自分自身を傷つけることを理解した。</p> <p>友達の努力を評価することで、それぞれが満足感や達成感を味わい、友情の大切さを実感することができた。</p> <p>自尊感情を高め、日常生活の意欲を高めることができた。</p> <p>相手に好感を持たれる自己表現を意識することができた。</p> <p>自己存在感を高めることができた。</p> <p>体育祭を大成功することで、集団力について、そのよさを実感することができた。</p> <p>どのクラスも満足感あふれる総括を行った。</p> <p>魅力のあるリーダーが修学旅行委員に選ばれた。</p>			
1	・学習、生活面で気抜けする時期。	『ムシムシ教室の席がえ』 『ももちゃんのおつかい』	新しい班のリレーションづくり。人の話をよく聴いたり、タイミングよく話したりすることの大切さを学ぶ。 GWTをする意義は協力のよさに気付く、他人	G G

		『メイク・ア・スクエア』	のよさに気付く, 自分のよさに気付く, この3つの気づきから自ら行動, 変容していくことにある。	G
		『修学旅行物語(反省編)』	体験的に学んだあと, よりよいかかわり方を振り返る。	E
2	・学習への不応生徒に対し, 緊急課題として, 学習面の取り組みを特設する。	『プラス返しの達人になろう』	自分の言葉で思いを伝え, かかわり合う力をもつことのスキルを向上させる。友だちから見た自分を知る。	E
		『模擬面接(1)』	面接官の質問内容に対してきちんと自己主張できるように整理する。	S
		『模擬面接(2)』	面接という多少緊張する場面設定でのロールプレイをする。	S
		『ウェビング』	自分の趣味, 特技, 長所などをウェビング用紙に記入する。2人1組になってインタビュー形式で相手のセールスポイントを引き出していく。	E
		『リストアップ』	日常生活や学校生活の中からさまざまな項目について具体的に自分について書く。	E
		『14歳の主張(3年生に向けて)』	学校生活の中で自分が一番力を入れたことについて, 何を, なぜ, どのようにしたのかを説明し, 自分のよさと合わせて, 3年生に向けての決意を主張する。原稿書き 班 クラス 学年集会 全校集会の流れ	E,S,G
3	・3年生への不安 ・最上級生になるという自覚	『わたしたちのお店屋さん』	情報を正確に伝え, 聴くことの重要性に気付く。学年末にあらためて協力することのよさに気づく。	G
		『卒業生へのメッセージ』	先輩の心を知ろうとし, 自分自身の心の動きを実感する。	E
		『バンガロー殺人事件』	学年全体でGWTを行う。問題を解決することで, 協力とはどのようなものなのかを実感する。友だちのよいところを認め合うような振り返りを行う。	G
1 年 間 の 変 容	<p>修学旅行に向けて, コミュニケーション能力を高めることができた。</p> <p>ロールプレイの模擬面接をすることで, 客観的に自分を見ることができた。</p> <p>進路に対する意識が高まり, 目標を持つようになる生徒が増えた。</p> <p>学年末テストを3年生に進級する準備としてとらえていた。</p> <p>よりよい校風を創ろうとする気持ちが高まった。</p> <p>コミュニケーション能力の大切さを意識できた。</p> <p>教師の自己開示をすることで, 生徒が安心感を感じた。</p>			

なごり雪

春の気配が少しずつ感じられてきたと喜んでいたら、先日、思わぬ雪に見舞われました。これが『なごり雪』なのでしょうか。3年生の卒業式に間に合うようにPTA主催で「花いっぱい運動」が行われました。花壇が花でいっぱいになりました。そして3年が卒業・・・3年生の前途に幸あれと祈りたいと思います。

いよいよ君たちが3年生。そして、その準備の春休み間近となりました。この春休みは、学習面はテスト問題のやり直しができるでしょう。また、生活面では、スカートの丈を修正することができるでしょう。特にこの生活面では自分だけの勝手な判断で学校生活を乱すことがないように気をつけてほしいと思います。最終学年に上がるということはそれだけ責任が増すということで、勝手な事をやれるということではありません。この春休みは上級生になるという自覚をもって生活してほしいと思います。

この1年間のまとめ [成果 課題]

(集団づくり)

班形態の成果の方が大きくなってきた。(助け合い学習や、注意し合える関係)
クラス全体のことを考えた班づくりができていた。(仲間を排除したりしない。全体のことを考えた発言ができる)
班長を選ぶ意識が高まっている。(リーダーとしての自覚と責任)
学年のまとまりができてきた。(修学旅行、クラスマッチなどの行事の成功)
支えてもらうのが当たり前な受け身型の生徒の変容が見られない。
もう少しパワーのあるやさしさをもった友人関係になってほしい。(でないと思ひ方に自分も流されていく)
いろんなことに関連づけて考える能力が高いとは言えない。(たびたび同じような注意を受ける人がいる。)

(学習面)

授業規律はできている。(その環境が成績向上の絶対条件)
忘れ物が減った。(義務教育9年目！当たり前！)
授業の内容を定着させる取り組みが甘い。(家庭学習の少なさ。高校で困るぞ。)
提出物の未提出者とその人の成績面は比例している。(見通す力が足りない)

(生活面)

素直さが好感が持てる。(これが大きな力です。)
清掃活動に取り組む姿勢がよい。
携帯電話を持っているために、学習成績、交友関係に悪い影響が出た人がいた。
髪、眉、スカートの丈などを注意された人がいる。

ご家庭で休み中の生活について話し合いの場をもってください。

・学習面・進路・携帯電話・交友関係・まゆそりなど・TVゲーム・地域での姿

マスターマインド 第3の心

『マスターマインド』とは二人以上の同じ目標をもった人の集まりのことであり、また、それらの人の間で行き交う波長のあった思考のことです。

過去の成功者の中に『マスターマインド』の協力なくして、偉大なことを成し遂げた人はいないといわれています。その人たちがマスターマインドを意識していたかどうかは聞いてみなければわかりませんが、『マスターマインド』を活用していたことは明らかなのです。そして、このマスターマインドグループをつくるのが目標をほぼ半分達成したと同様なのです。

さて、この考えを学年、クラス、班、部活動、学習に置き換えてみると、どのような集団が感動を味わえるかが分かります。『英語力を向上させたい』という人がマスターマインドの関係をつくると、向上していく可能性も高くなるでしょう。その反対は、伸びるどころか下がるのがよくあります。部活動でもそうでしょう。そもそも部活動は同じ目標を設定しやすい活動です。その中でマスターマインドグループが形成されると、驚くようなチーム力が発揮されます。つまり、身体面・技術面はそろえることは難しいことですが、“持つべき意識”をそろえることで、目標達成の基礎固めができます。

こんな言葉があります。『二つの心が一つにまとまるとき、見たこともない、思ったこともない、味わったこともない素敵なもう一つの心、第三の心が生まれる。』人の異なる気持ちを一致させ、調和させることは簡単なことではありません。それができたときの効果の大きさを考えれば努力する価値はあります。それを実現するにはマスターマインドグループになることが重要なのです。仲良くするのは当たり前で、“持つべき意識”を共有するマスターマインドグループをつくっていくことが成功への道です。



《3学年》

3年生学年便り第1号に3年生の学年目標を書きました。【一部抜粋】

集大成の年 3年生のグランドデザイン

学年目標

『志を立て、自ら学ぶ生徒に』

- ・これは育てたい生徒の期待像です。
- ・「志を立て」には、目標を設定してその実現を目指す姿や、少年らしい夢や将来への希望をもち、人として価値のある生き方を目指す。立志の姿への期待がある。
- ・「自ら学ぶ」には、自立を目指して積極的に学び、自ら鍛え、向上しようとする姿や集団生活において、他とのかかわりを通して、自己のあり方を学び、共によりよい集団づくりを目指していこうとする姿への期待がある。

重点目標

- ・思いやりの心をもって、お互いを認め合う
- ・よりよい学び方を求めて、主体的に取り組もう
- ・自らを律し、正しい判断で行動しよう

自立心を育む生徒指導

人間関係づくりの学級経営

生き方指導としての進路指導

《3年》

学年目標：『自分に問う力＝うまく悩む力＝生きる力』

（自分はこれでいいのかと考え、迷いながらもプロセスを楽しんで生きる）

生活目標：「思いやりの心をもって向上しよう。めあてをもって学び続けよう。」

重点目標：さわやかなあいさつ 毒を吐かない

月	生徒の様子	その月の主な実践行事	ねらい	つながり学習
4	<ul style="list-style-type: none"> ・組織の固まり ・最高学年としての自覚が高まる ・自己中心的な生徒 	『班長会で班のメンバーを決めよう』	リーダーに自覚を持たせ、明るい中でも落ち着いた雰囲気での学習ができる班構成を考える。また、一人ひとりの存在を認める話し合いをする。	G
		『魅力のあるリーダーとは』	リーダーについて考え、実際の人を考え、リーダーの分類を行う。誰もがリーダーであることに気付く。自己有用感を高める。	E
		『清掃分担』	清掃区域の監督の先生とミーティングをし、その先生と役割分担を契約し、こだわりを理解する。	S
		『先生たちばかりが住んでいるマンション』	新しい班になってのリレーションづくり。正しく聞くことの重要性に気付く。千代中「つながり学習」の意義に関連づける。	G
		『ピーニング（学級目標）』	クラス（班）のルール・マナーづくりを個人班 クラスと練り上げていく。安心して学習生活できるルール・マナーを最初に契約する。	G
		『他己紹介ビンゴ』	友だちの良いところに気づいたり、良いところを見つけようとする。友だちからどんな風に自分が見られているかを知る。（つながり学習）	

		『先生たちばかりが住んでいるマンション』	クラス全員で協力することのよさに気づき、クラスみんなで達成感を共有する。クラスの討議づくりに関連づける。	G
		『個人の目標を立てよう(応援メッセージ)』	友だちの目標を読み、それを応援することで他者理解の雰囲気をつくる。	E
		『後輩への愛のメール』	入学したばかりの1年生と良好な人間関係をつくとともに、全校的に安心感をつくる。	E
5	・責任感と不安に悩む時期	『1年後の自分へ』	中学校生活のゴールを肯定的に自分をイメージする。ゴールを意識しながら毎日を過ごすことの大切さに気付く。	E
		『1年後の友へ』	1年後のイメージを伝えあうことで、より確かな1年間の目標を設定する。友だちからの応援メッセージで、前向きな意欲を高めていく。	E
		『スタディスキルチェック表』	生徒指導と教科指導と学級づくりを関連づけて考える。そのとき授業規律が大きなポイントとなるので、個人のスタディスキルをチェックし改善目標を設定する。	S
		『今の自分を見つめて』	自己評価することで、自分の言動、感情、役割などを内観的思考で学びとる。	E
		『模擬面接(面接ロールプレイ)』	率直にコミュニケーションがとれる「アサーションスキル」獲得を目指す。	S
		『鍛錬遠足をよくする人』	クラスを構成し、つくりあげていくひとりの存在として、どのような態度と行動が必要なのかを知る。また、グループワークを通して、それらを自分のスキルとして習得していく。	G
		『自分を語ろう』	相手に好感が持たれる自己表現の方法を知り、自己認識、他者理解を深める。	E
		鍛錬遠足	楽しく参加しながらも、他者を思いやり、援助の手を差しのべ合う協力的な人間関係を育成する。一つの成功にはみんなの力が必要だということを経験的に感得させる。	E,S,G
		『ぼくらはジョーズ』	自分の頭で考えていることを言葉にして表す場合、そのことが相手に正確に伝わっているとは限らないことに気付く。「聴く」ことの重要性に気付く。	G
		『色えんぴつ忘れちゃった(気球編)』	正しく聴くことの重要性に気付く。グループの協力の大切さを学ぶ。ウォーミングアップに「紙破りビンゴ」「背中でも感じる」「聖徳太子ゲーム」	G
6	・部活動のみがんばる生徒 ・進路に対する不安が現実的になる生徒	『イメージボードゲーム』	聴くスキルについて考える。ちょっとしたことで集中力が途切れてしまうことを体験する。	S
		『ビーイング(再契約法)』	リレーションづくりをすすめる中で親しさ感覚だけでいくとそろそろ侵害傾向が出てくることに気付く。4月の契約を再契約する。	S

		『よいところ発見』	友だちから自分のよさを認められることで自尊感情を高める。	E
		<u>保育実習</u>	楽しく参加しながらも、人を思いやる豊かな心情を持たせたい。【つながり課題学習】	E,S,G
		<u>球技大会</u>	楽しく参加しながらも、一人ひとりに役割があり、互いに援助し合う人間関係を意識する。	E,S,G
		『みんなの頑張る姿を評価しよう』	クラスの人々の係活動を確認し、いいところを評価する。その後自己評価を厳しくする。	E
7	・マンネリを感じる ・進路目標の設定がうまくいかず、家庭学習が進まない時期	『外から見た私』	他者から見た「私」の長所を4つの窓（開放・盲点・秘密・未知）にまとめる。そこから今後の意欲を喚起する。	E
		『今学期の係活動』	班の友達から見た「私」の仕事に対する姿勢でいいところを具体的に書いてもらうことで、達成感や役割の大切さを実感する。	E
		『みんなで作る連絡票』	他者からのアドバイス、感謝、応援のメッセージをもらい、自分の活動を振り返る。友だちから見た自分を知り、自己成長のきっかけにする。	E
		<u>山笠体験</u>	山笠に関する6つのコースに分かれて、課題に取り組むことで、地域の伝統を具体的に学び、よりよい取り組みの意識につなげる。 【つながり課題学習】	
1 学 期 で の 変 容			リーダーとしての自覚と責任を意識して、班づくりに取り組む姿勢ができた。 担任との信頼関係もよいスタートができた。 自分の目標を応援してもらえたり、よいところを認めてもらえたりすることで自尊感情が高まった。 人のよいところを意識することで、仲間に対する肯定的感情をもつことができた。 自己評価、自己分析することで、今後の意欲を喚起することができた。 相手に好感を持たれる自己表現を意識することができた。 行事や学級活動の中で、自分の役割を果たす大切さを実感することができた。	
9	・学習に専念できる生徒と適応できない生徒が顕在化 ・連帯感が薄れる時期	『ぼくらの先生』	新しい班のリレーションづくり。協力する良さに気付くグループワークTR。	G
		『2学期の目標（KJ法）』	マスターマインドグループ（同じ意識をもつて高め合う集団）づくりを意識させ、集団の教育力を高める。	G
		『目標の花束』	自分の目標に対する肯定的なイメージをもてるようにする。	E
		『SOS砂漠でサバイバル』	班で行うエクササイズを通して、望ましい集団体験を得る。	E
		『もし、子どもが・・・』	保護者向けのグループワークTR。自分の考えを話したり、人の話を聴く。生徒に対しては、人と接するときの生き方について考える。	G
		『体育祭How Much』	自分を表現する能力と他者の考えを尊重することを学ぶ。	G
		『迷える子羊たちの宝探し』	進路選択に伴う不安、迷い、曖昧さをあたためる。	E

		<p><u>卒業生のお話を聞く会</u></p> <p>『人生の羅針盤』</p> <p><u>社会人講話</u></p> <p><u>高校見学</u></p> <p>『体育祭をよくする人』</p> <p>『何ができるの?』</p>	<p>先輩の体験談を聞き、主体的に進路選択をすることを学ぶ。</p> <p>ブレインストーミングで友だちから新たな気づきを得る。</p> <p>人生の羅針盤を見つける。</p> <p>体育祭はひとりのものではなく、みんなのものである。それを創りあげていくひとりの存在として、どのような態度と行動が必要なのかを自分のものにする。</p> <p>自分の頭で考えていることを言葉にして表す場合、そのことが相手にそのまま正確に伝わっているとは限らないことや、人の意見を聞くときその受け取る意味合いが自分の思いこみによって左右されることがあることを体験的に気付く。</p>	<p>E</p> <p>G</p> <p>G</p>
10	<p>・友人との価値観の相違から対立や孤立の目立つ時期</p> <p>・進路の不安から自己コントロールできず、自暴自棄になる生徒</p>	<p>『かんたはどこだ!』</p> <p><u>除草作業</u></p> <p><u>校区体育祭</u></p> <p>『団結とは何か』</p> <p>『まちがいさがし』</p> <p>『なぞの宝島』</p> <p>『いのちのタイムテーブル』</p> <p>『西田さんにとっての受験とは』</p>	<p>ルールとは、生徒との関係性の中でつくられる社会的なもの。情報を組み立てるGWTを通して交流しながら気付く。</p> <p>体育祭の成功の後味のよさを継承する。</p> <p>GWT「お誕生日おめでとう」の発展版。さらにルールとリレーションを高める場を設定した。話し合いの場が増えたことでより多くの気づきを得て欲しい。</p> <p>情報を組み立てるGWT。エクササイズをしながら協力の大切さに気付く。</p> <p>生命尊重をテーマとして、生命の大切さを感じさせる。</p> <p>西田さんの生き方を知り、あらためて自分を見つめ、受験の意味や生きる意味について考える。</p>	<p>G</p> <p>E,S,G</p> <p>E,S,G</p> <p>E</p> <p>G</p> <p>G</p> <p>E</p>
11	<p>・進路の不安から自己中心的になったり、気分次第で進路を選択してしまう生徒</p>	<p>『ライフポート』</p> <p>『お母さんぼくが生まれてごめんなさい』『後悔』『命を見つめて』</p> <p><u>性の学習</u> エイズについて</p> <p>『自分史づくり』</p>	<p>命の重さ、尊さはみな同じだということを価値葛藤を通して実感させる。</p> <p>読み物を通して、かけがえのない命について自覚を深め、自他の命を尊重しようという心情を養う。</p> <p>自分の生き方、人柄、性格の特長をよいところを中心にまとめながら、これからの進路につなげていく。</p>	<p>E</p> <p>E</p>

12	<p>・進路目標がはっきりし、意欲が高まる時期</p> <p>・家庭環境でストレスフルになりやすくなる生徒</p>	<p>『面接ロールプレイ 』</p> <p><u>食の学習</u></p>	<p>さまざまな質問を読み、考え、自分の言葉で伝えていく。聞き手がどう感じたかの評価活動で、自分を見つめる。</p> <p>食育の学習を通して、朝食の大切さと生活を結びつけて、これからの健康的で意欲的な生活の意識づけを行う。</p>	S
2 学期 で の 変 容	<p>協力して取り組むエクササイズで仲間意識が深まった。</p> <p>自己概念を豊かにするエクササイズを通し、体育祭に意欲的に取り組めた。</p> <p>不安や悩みを自己で認識し、また先輩方の体験談を励みに、主体的に進路選択をする姿勢が見られた。</p> <p>受験の意味、生きることについて考えることができた。</p> <p>自分史をつくることで、今までの続きが今の自分であり、その続きがこれからの自分であると意識づけることができた。</p> <p>ロールプレイの模擬面接をすることで、客観的に自分を見ることができた。</p>			
1	<p>・個人主義的になりやすい時期</p> <p>・健康面、体力面が心配な時期</p>	<p>『先生はどこだ』</p> <p>『面接ロールプレイ 』</p> <p>『ビデオ面接』</p> <p>『黙ってコミュニケーション』</p> <p>『ストリートアクシデント』</p> <p>『トラストフォール』</p> <p>『誕生日チェーン』</p> <p>『15歳の主張』(弁論大会)</p> <p>『水族館にご案内 』</p>	<p>新学期になってのリレーションづくり。コミュニケーションの意欲とスキルを育てる。</p> <p>さまざまな質問を読み、考え、自分の言葉で伝えていく。聞き手がどう感じたかの評価活動で、自分を見つめる。</p> <p>協同作業を体験することで、自分の自己中心性に気付く。班のメンバーを思いやり、お互いに援助の手を差しのべ合い、協力的な人間関係をつくる。</p> <p>自分なりの思いやりを行動で示す。スキンシップ、安心感、コミュニケーション</p> <p>今考えていること、今頑張っていること、夢などをテーマにしてみんなの前で語ることで、お互いをよく理解し、信頼関係を強くする。</p> <p>情報を組み立てるGWT。エクササイズしながら、グループ内での自己の役割に気づき、リーダーシップやメンバーシップを発揮し、協力の大切さに気付く。</p>	G S G E E,S,G G
2	<p>・合格者と未受験者の間で意識のズレが生じる時期</p>	<p>『私立入試を振り返って』</p> <p>『すべての人にありがとう』</p>	<p>よいところさがし、ありがとうカード、ごめんねメッセージなど様々な関係の人にできるだけ渡すことで、学校全体に温かい雰囲気を生む。</p>	E
3	<p>卒業を前に、クラスとして団結が急に高まる時期</p>	<p>『後輩へのメッセージ』</p> <p>『後輩からのメッセージ』</p> <p>『卒業式を考える』</p> <p>『卒業式練習』</p>	<p>伝統とは木の年輪のようなもので、自分たちの学年でまたひとつ残そうという意識をもつ。</p> <p>誇りをもって卒業する気持ちをひとりひとりがもつ。また、卒業後も友人たちを一生大切にしていこうという意識をもつ。</p>	E E E
1 年 間 で の 変 容	<p>マスターマインドグループ(同じ意識をもって高め合う集団)を意識して、集団の教育力を高めることができた。</p> <p>自分たちの行動に自信と責任をもつこと、周囲との合意形成が大切であることを学んだ。</p> <p>今まで積み重ねてきた面接練習を総合的に演習することで、自信をもつことができた。</p> <p>今現在の自分の位置から、努力目標をはっきりもつことができた。</p> <p>自分の設定した目標に向かって、決して妥協せず精一杯努力することができた。</p> <p>受験に向けてお互い励まし合いながら努力することができた。</p> <p>後輩たちによい伝統を引き継ごうという意欲をもって、残り少ない中学校生活を充実させることができた。</p>			

3年生学年だより 最終号

祝 卒業 そして、新たなる前進！！

卒業生へ

1年生学年だより4月号(第1号)で書いた言葉。

今まで弱虫だった人も、甘えん坊だった人も、わがままだった人も、みんながみんな中学生。「よし、今日から中学生なんだ。」という緊張感と喜びを胸に中学校3年間のスタートをきってほしいと思います。「いくぞー(先生)」「おう!(生徒)」みんなおぼえていますか。

この3年間でみんなは先生たちに対して本当にたくさんの素敵な思い出をプレゼントしてくれました。数え上げればきりがありませんが、体育祭、合唱コンクールなどの大きな行事はもちろんですが、日常のいろいろな場面で「先生がんばって」と声をかけてくれたり、「はい私がやります」とサッと手伝ってくれたり・・・今思うと、みんなの優しい心に支えられて気持ちよく過ごせたような気がします。また、受験を通してみんなの心を感じることができました。進路が決まらず、本当はストレスがたまりイライラしているはずなのにグッと我慢する強い心。試験前ではお互いにがんばろうと励まし合う友情。そして、今年は数え切れないくらい聞きました。「ありがとうございます。」という言葉。

さあ、いよいよ巣立ちの日。この卒業式では先生たちから「こちらこそありがとうございます。」という心を込めて、最後の呼名をさせていただきます。君たちの大きな返事で、また一つ素敵な思い出が増えると・・・うれしいな・・・

